**平成２８年度　第１回下川淵公民館運営推進委員会　結果報告**

１　日時　平成２８年７月２９日（金）午後１時３０分～２時４５分

２　会場　下川淵公民館会議室

３　出席者　内藤委員、羽鳥委員、石井（重義）委員、細野委員、茂木委員、関委員、根岸委員、金井委員、石井（千鶴子）委員、宇多館長、塩川主査

４　欠席者　綿貫委員

５　内容（司会：宇多）

(1) あいさつ

(2) 委嘱状交付

羽鳥委員、石井委員、細野委員、関委員へ

(3) 委員自己紹介

(4) 関係法令の説明

　　　公民館運営推進委員会について、宇多館長から関係法令等の説明を行った。

(5) 委員長、副委員長の選出

委員長に羽鳥委員、副委員長に金井委員を選出した。

　(6) 議事（議長：羽鳥委員長）

ア　平成２８年度下川淵公民館の事業について

　　　　別紙資料に基づき、宇多館長から事業内容の説明を行った。

　　イ　その他

　　　　別紙資料に基づき、宇多館長から下川淵地区の人口について説明を行った。

　【主な意見】

○わくわくクラブについて、興味のある内容じゃない。カレンダーづくりは１歳半から３歳の子にできるのか。保育所の水遊びは、保育所に通っている人はいいけど、そのために水遊び用の水着を用意させるのはいかがなものか。（羽鳥委員）

○この時期、室内の方が良いのでは？（石井（千）委員）

○子育てサロンは、以前は１０組ほどいたが今年は４組ほどしかいない。今は０歳１歳から保育園で預かってくれる。そして親は勤めに行っている。（茂木委員）

○アンケートを取ったらどうか。若い人の考えを聞くために。時期、内容など。（関委員）

○もし自分だったら、夏は避けたい。春か秋。生まれて３ヶ月のお宅に保健推進員が訪問している。毎月３～４人はいる。小さい子を育てている親がいないわけではない。勤めの人が多いのではないか。おばあちゃんに預けないで保育園に預ける人が多い。この時期から仲良くなれば、保育所・幼稚園で一緒になる。子どもは馴染んで親も友達になれるので、自分の不安が消える。（石井（千）委員）

○内容をチラシに詳しく書いた方が良い（羽鳥委員）

○１歳半から３歳と限定されている。もっと対象を幅広くしたらどうか。５歳までとか。（金井委員）

○小さいうちから、人と人とのつながりが必要だ。今は横のつながりが細い。子どもを養えても、育てられているのか疑問だ。上陽や保育所では、できることに内容が限定されてしまう。（内藤委員）

○高齢者教室は、生涯学習奨励員や民生児童委員、自治会女性部などの団体も利用して課題を出してもらうとか、人を集めてもらうとか。（羽鳥委員）

○内容は良くても公民館に行くのは一歩踏み出せない。行けば内容が良いものが多いのだが。役員に呼びかけてみる。ただ回覧だけでは人は集まらない。（石井（重）委員）

○強制力を持たせること必要だ。自主グループ連協ではノルマ人数を設定している。女性に関心があるものは、健康、美容、食べ物。（金井委員）

○ここまで来るのに足がない人もいる。（内藤委員）

○公民館の職員だけでプログラムを組んでいるのか。他の団体、人の意見を取り入れたらどうか。（羽鳥委員）

○計画した人が何人か連れてくるだろう。（石井（重）委員）

○昭和の思い出は楽しかったが、音楽を聴いて楽しいと思う人は多いと思う。（根岸委員）

○老連のカラオケ大会にぶつけるとか。（金井委員）

○同じような趣旨でやるのがあるので、公民館と団体と一緒にやるとか。（金井委員）

○高齢者教室で体を動かすのがない。カルタウォーク毎年６０人くらい参加している。外でやったらどうか。カルタウォークと連携できるものがあればよい。（根岸委員）

○平日で午前だと参加できる人が限られてくる。おのずから参加できる人少なくなってしまう。平日の夜とかできないか。（羽鳥委員）

○いきいきサロンは男性が少ない。男性が出る企画をやってほしい。（茂木委員）

○各団体ごとに定例会議がある。そこで講座の宣伝をしたらどうか。（羽鳥委員）

○夜のグループ活動の帰りに、公民館駐車場の車止めにつまづいて骨折した人がいた。夜はとても暗い。電灯を設置するとか環境改善を考える必要がある。（根岸委員）